

● 空手の昇級試験（しょうきゅうしけん）
● これは、私が本当に体験した話である。
● 小学校のころ、空手を習っていた私は、
● 級を上げるための試験を受けることにな
● った。たしか、小学4年生のころである
● 当時の私は、埼玉の東ちくで2位という
● 実力を持っており、せいけんづき（パン
● チ）にはかなりの自信を持っていた。
● 試験が始まった。
● 試験の中には、自分より級が上のものと
● たたかう場面もあり、私の相手は、黒帯
● の相手となった。
● その相手に勝つのではなく、良い試合を
● すれば、級が上がるのであるが、負けず
● ぎらいの私は絶対に勝ってやる！と意気
● こんでいた。
● が、大問題が起きた。
● 何と相手は、女性だったのだ。
● 私は、母からこう教わってきた。
● 「女性はなぐってはいけない！」
● どうしよう、でも、受かりたい！
● 私は、思い切りたたかった。
● 女性は、タンカで運ばれていった。
● 級は上がったが、私はやってはならない
● ことをしたと、今でもくやんでいる。

問い1、この話は筆者が小学（ ）のころ
の話である

（ ）問い2、大問題とは何か

（